



大学生へ向けた入間基地見学を実施

自衛隊東京地方協力本部代々木募集案内所（所長 阿南一陸尉）は5月18日、担当地域に所在する國學院大学からの強い要望を受けて、航空自衛隊入間基地見学を実施した。

当日は、学生及び教職員19名の参加者があり、航空自衛隊の概要説明の後、飛行点検隊等の部隊及び施設の見学を行った。特に学生の関心を引いたのは、T-4練習機の見学で、コックピットへの搭乗やパイロットが着用する装備品の試着など「日常にはない体験に、学生たちは興奮し楽しんでいようだった。学生からは「自衛隊のイメージは少し怖いものであったが、皆さん真剣に取り組みつつも笑顔で仕事をしている姿が印象的であった」「女性隊員が多く勤務している姿に驚いた」との感想が聞かれ、自衛隊への良好なイメージを持ってもらえることができた。

代々木募集案内所は今後も所員一丸となり、引き続き部隊等と連携し職場見学等で自衛隊をアピールし、入隊者獲得のための努力を惜しまず邁進していくとしている。



4年ぶり開催、城北地区隊を励ます会に参加

自衛隊東京地方協力本部城北地区隊（隊長 小竹2陸佐）は6月29日、豊島区のホテルメトロポリタンで実施された「令和5年度東京地本城北地区隊を励ます会」に参加した。

本会は、城北地区隊の実施する業務の重要性に銘肝し、激励・支援することを目的として、東京地本城北協力会、城北地区募集相談員連絡協議会、家族会城北地区協議会の3団体が主催しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため4年ぶりの開催となった。

開催に先立ち山下東京地方協力本部長による防衛講話が実施され、城北地区隊長及び各所長を含む約80名が陸上自衛隊のPKO活動等について傍聴した。

その後会場を移し、城北地区隊を励ます会が海上自衛官のサイドパイプと呼ばれる笛の号令により始まった。本会へは118名の参加者が集まり、主催者代表として中里城北協力会会長の挨拶の後、来賓として佐藤正久参議院議員からのご挨拶、菊池城北地区募集相談員連絡協議会会長の乾杯を経て、会食が開始された。和やかな雰囲気の中、OBの方の紹介で来て頂いた、まちづくりマジシャンToshiのマジックを皮切りに余興が始まり、隊員による陸自格闘術の演武、海上自衛隊の手旗と組み合わせた替え歌、けん玉芸等によって会を盛り上げた。特に、東京地連時代に作詞・作曲された歌（「俺は男だ募集マン」）を隊員一同で斉唱することより、参加者の募集へかける思いを一体とすることができた。最後は、佐竹家族会城北地区協議会会長による一本締めの後、開始同様サイドパイプの号令で終幕となり、終始笑いの絶えない会となった。

城北地区隊は、今後も関係協力団体と一致団結した募集・広報活動を実施し、防衛省・自衛隊に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋がりたいとしている。

